

人を育てると言うこと 君子蘭のように 0214  
花を育てることで考えると

食品工場は従業員の技術が最終商品の品質を左右します。

生産設備が進化しても最後は人間の作業が大切だと思っています。

いい商品を作るためにはすばらしい従業員が必要だと思います。

「人を育てて成果がほしい」成果は花が咲くこと考えてください。

一番簡単にきれいな花を、咲かせるためには咲いている花を買ってきて花瓶にさす事かもしれません。

シクラメンなどの鉢になっている花を買ってくることもできません。

なぜか日本はクリスマスにシクラメンを部屋に飾りますがクリスマス前にシクラメンを買ってきて、クリスマスが過ぎて、花が枯れたら、鉢ごとゴミ箱に捨ててしまう光景を毎年見る事ができます。

工場長のあなたが従業員を使うときにも同じ事を行っていないか考えてみてください。

「ティッシュペーパーの様に人を使う」

従業員が必要な時に使って使い終われば、そのまま捨ててしまう。

ティッシュペーパーに人の使い方をよくたとえられますが、本来はどんな風に人を育てればいいのでしょうか。

毎年、決められた季節に種をまき、季節がすぎれば、きれいな花が咲きます。

朝顔を育てようとするれば、種を蒔く季節に肥料をきちんとあげて、水を定期的にあげれば、7月にはきれいな花が咲きます。

小学生のお子さんが、いる方は、宿題の朝顔の種をもらってきたときにあなたの子供の鉢にきちんと肥料を入れてあげれば一人だけ、大きくて綺麗な花を咲かすことが出来ます。

もちろん土も選んでブレンドしてあげる必要があります。

チューリップを春に咲かせたいとすれば、秋に球根を買ってきて土に植えて外に放置して表面が、乾かないようにすれば、春にはきちんときれいな花が咲くと思います。

チューリップの花を咲かせる上で、一番大切な事は、冬を越すと同じ寒さを与えるということが大切になります。

この球根からチューリップを来年もきれいに咲かそうとすれば、花が咲いてすぐ受粉させてから、花を切り落とす必要があります。

本当にこれは成果がでた事になるのでしょうか。

クンシランで考えてみます。クンシランは、私の祖母が大切に育てていた鉢を、祖母が亡くなってから、私が育てていますが、クンシランにきれいな花を咲かせる事を考えてみます。

チューリップと同じように10°C以下の寒さに60日間当たらないと花は咲きません。

その厳しい季節にも肥料はたっぷり必要ですし、水もたっぷり必要です。

クンシランは、水が足りないとか、肥料が足りないとか、鉢がきついか、寒さがほしいとか、言葉で話してはくれません。

クンシランと同じように上司が部下の事を感じて行動しなければ、毎年、毎年きれいな花は、咲き続けないのです。

従業員が毎年満足して花を咲かすだけの気配りをあなたは行っていますか。

[食品工場の危機管理の基本](#) [危機管理センターについて](#) の [目次に戻る](#)

こんな事が聞きたい方は [連絡先](#) から お願いします。



<http://ja8mrx.o.oo7.jp/koujyou1.htm>